

事業所名

社会福祉法人島根整肢学園
西部島根医療福祉センター あゆっこ江津

支援プログラム

作成日

令和7年 2月 27日

法人（事業所）理念		島根医療福祉センターは、施設のもつ機能を駆使して、地域の医療、福祉に貢献し、誰もがこころ豊かに暮らす社会の実現に向けて取り組みます。		
支援方針		子どもの笑顔のために、“うれしい” “たのしい” “できた” を応援します。		
営業時間		8時15分から17時15分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に集中できるように、個々に合わせた部屋の環境調整を行なう。 ・見通しを持って課題に取り組めるように、具体物（棚、写真、絵カード等）を使用したスケジュールを提示する。 ・その日の様子や状態を見極めて対応することで、安心して療育が行なえるようにする。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・着席姿勢を保持する能力の向上を図る。 ・手指の操作性の向上、力加減の調節を図る。 ・動作や感覚に対する補助的用具を活用する。（バネばさみ、三角えんぴつ、イヤーマフ等） ・個々の感覚の特性への対応を行なう。 ・感覚、感触遊び等で、感覚を楽しめる活動の提供をする。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、数、形、色、時間等の概念理解の向上を図る。 ・状況を理解し、適切な判断や行動ができるよう支援する。 ・特性やこだわり等に対する支援を行なう。（肯定的な注目、否定的注目をせず待つ等） 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の獲得、表出、コミュニケーション能力の習得ができるようにする。（ごっこ遊び、言葉遊び、音韻認識等） ・言葉やツールを活かしたやりとりができるように、個々に合わせた伝達方法（絵カード、ジェスチャー等）を取り入れる。 ・読み書き能力が向上するように、教材や教具の工夫をする。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・個別での療育を通して、安心して課題に取り組める環境や雰囲気作りを行なう。 ・あいさつ、自己紹介、他者とのやりとりを通して、社会性や対人関係の向上を図る。 ・1対1のやりとりの中で真似をしたり、他者を意識して遊んだりする経験を積み重ね、他者への興味、関心が広がるように支援する。（1人遊び～共同遊びへ） ・集団参加への支援を行なう。 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・課題や支援の内容についての説明と活動中の様子を伝える。 ・家庭や保育所等での様子の聞き取りを行なう。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や就学先の小学校へ、活動の様子や支援内容等についての情報共有、支援内容等の擦り合わせを行なう。 ・必要に応じて保育所等や小学校へ訪問し、情報共有や支援の検討を行なう。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員との担当者会議の実施や支援会議等へ出席し、情報共有を図る。 ・小児科やリハビリスタッフとの情報共有や発達検査、受診の案内を行なう。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修（事例検討会）、外部研修の参加等 ・各種勉強会の参加（障害福祉サービスに係る報酬改定の内容について、感染対策、虐待防止等）
主な行事等		法人全体では、祭りや学園祭等の行事を行なっている。その他、季節に応じた制作活動等を行なっている。		